



A 試合会場レポート

試合番号 306

開催日 2018/05/04

第67回黒鷲旗全日本男女選抜バレーボール大会 女子 会場：丸善インテックアリーナ

観客数： 3,500	開始時間： 12:07	終了時間： 14:38	試合時間： 02:31	主審： 明井 寿枝	副審： 北村 友香
------------	-------------	-------------	-------------	-----------	-----------

岡山シーガルズ



監督：河本 昭義
コーチ：吉田 啓佑

通算： - 勝 - 敗
ポイント： -

2	25	第1セット 【 00:25 】	23	3
	25	第2セット 【 00:24 】	21	
	20	第3セット 【 00:29 】	25	
	22	第4セット 【 00:30 】	25	
	21	第5セット 【 00:31 】	23	

ポイント 【】内はセット時間
- ()内は交代選手 -

J Tマーヴェラス



監督：吉原 知子
コーチ：丹山 禎昭

通算： - 勝 - 敗
ポイント： -

<監督コメント>

第3セット中盤、加速すべき2枚替えが相手につけこまれる結果となった。その責任を果たした試合はセット、ゲームに勝利しているケースも多々あったが、各自が出るからには、一層の重みを感じながらやりきる必要がある。

全体的には第1、2セットも相手の勢いに押されながらうまくかわした試合展開であったので、V・プレミアチームに3連勝するには、個々やチームの壁を超えきらないとダメであるという事が改めて認識された。

大応援団の期待に十分とはいかなかったが、半ば応えられた。来季への布石にしていきたい。

連日の大声援、本当にありがとうございました。

<監督コメント>

大会も5日目に入り選手達も疲労がピークとなっている中、フルセットの戦いを勝ち切ってくれた選手達を讃えたい。

相手の岡山シーガルズの驚異的なディフェンスの前に試合序盤はリズムが悪かったが、試合中盤、終盤は相手に負けない粘りとハードワークが出来ていたと思う。

明日はリーグのファイナルで敗れた久光製薬が相手なので、挑戦者の気持ちを忘れないで、シーズン最後の試合を楽しみたいと思う。

本日もたくさんのご声援、ありがとうございました。

25	佐々木 萌 ()	渡邊 真恵 ()	第1セット	林 琴奈 ()	田中 美咲 ()	23
	川島 亜依美 (居村 杏奈)	大楠 鼓雪 ()		木村 千春 ()	小川 杏奈 ()	
	宮下 遥 ()	西村 弥菜美 ()		金杉 由香 (目黒 優佳)	橋井 友香 ()	

リベロ： 檜崎 慈恵

リベロ： 小幡 真子

25	居村 杏奈 ()	佐々木 萌 ()	第2セット	林 琴奈 (目黒 優佳)	田中 美咲 ()	21
	宮下 遥 ()	渡邊 真恵 ()		木村 千春 ()	小川 杏奈 ()	
	西村 弥菜美 (金田 修佳)	大楠 鼓雪 ()		金杉 由香 ()	橋井 友香 ()	

リベロ： 檜崎 慈恵

リベロ： 小幡 真子

20	佐々木 萌 ()	渡邊 真恵 (小野寺 夏希)	第3セット	林 琴奈 ()	田中 美咲 ()	25
	居村 杏奈 ()	大楠 鼓雪 ()		木村 千春 (橋本 梨紗)	小川 杏奈 ()	
	宮下 遥 (磯部 光里)	金田 修佳 (吉岡 美晴)		金杉 由香 ()	橋井 友香 (目黒 優佳)	

リベロ： 檜崎 慈恵

リベロ： 小幡 真子

22	居村 杏奈 (渡邊 真恵)	西村 弥菜美 (吉田 みなみ)	第4セット	林 琴奈 ()	田中 美咲 ()	25
	宮下 遥 ()	佐々木 萌 ()		橋本 梨紗 (山本 美沙)	小川 杏奈 ()	
	金田 修佳 ()	川島 亜依美 ()		金杉 由香 ()	目黒 優佳 ()	

リベロ： 檜崎 慈恵

リベロ： 小幡 真子

21	川島 亜依美 ()	佐々木 萌 ()	第5セット	林 琴奈 ()	田中 美咲 ()	23
	宮下 遥 ()	渡邊 真恵 (大楠 鼓雪)		橋本 梨紗 (山本 美沙)	小川 杏奈 (橋井 友香)	
	西村 弥菜美 (金田 修佳)	居村 杏奈 ()		金杉 由香 ()	目黒 優佳 ()	

リベロ： 檜崎 慈恵

リベロ： 小幡 真子

<要約レポート>

岡山シーガルズとJTマーヴェラスによる準決勝第2試合は、手に汗握る接戦となった。前日にフルセットの激戦を制して勢いにのる岡山は、セッターの宮下が多彩な攻撃を組み立て、第1、第2セットを連取する。対するJTは、サーブで相手レシーブを崩して得点に繋げ、目黒、林がストレートコースを狙ったスパイクを要所で決め、第3、第4セットを奪い返す。

第5セットに入ると、両チームともに素晴らしいレシーブをみせ、会場は1ラリーごとに盛り上がる。岡山が佐々木にボールを集めて緩急織り交ぜた攻撃で得点を重ねると、JTは金杉にボールを集め、バックアタックを含めた攻撃で応戦し、両者一步も譲らない白熱した展開となる。最後はJTが長いラリーから得点を連取してこのセットを制し、2年ぶりに決勝戦進出を決めた。

作成者：山尾 未来



A 試合会場レポート

試合番号 **303**

開催日 **2018/05/03**

第67回黒鷲旗全日本男女選抜バレーボール大会 女子 会場：丸善インテックアリーナ

観客数： 4,500	開始時間： 14:00	終了時間： 16:26	試合時間： 02:26	主審：北村 友香	副審：江下 毅
------------	-------------	-------------	-------------	----------	---------

トヨタ車体クインシーズ



監督：多治見 麻子
コーチ：印東 玄弥

通算： - 勝 - 敗
ポイント： -

2	32	第1セット 【 00:31 】	30	3
	26	第2セット 【 00:27 】	24	
	15	第3セット 【 00:24 】	25	
	26	第4セット 【 00:33 】	28	
	13	第5セット 【 00:19 】	15	

ポイント 【】内はセット時間 ポイント
- ()内は交代選手 -

岡山シーガルズ



監督：河本 昭義
コーチ：吉田 啓佑

通算： - 勝 - 敗
ポイント： -

<監督コメント>

決勝トーナメントという事でこの一戦にチーム全員が集中し戦い、第1、2セットは勝つことが出来たが、あと一点が取る事が出来なかった。

しかし、選手は最後まであきらめず戦ってくれたと思う。この大会で長い間チームを支えてくれた竹田選手と平松選手が引退するが、彼女たちが残してくれたものを次のシーズンでは生かし、クインシーズらしく戦っていききたいと思う。

連日、熱い応援、本当にありがとうございました。

<監督コメント>

前半の粘りの中で前日のいい時間とのズレがあった。その部分を修正しながらの試合運びとなったが、中でも上背のない新人の西村選手が、チームに刺激を与えながらよく持続したと思う。

最後のまとまりはいいものがあった。

明日は今日の反省を生かし、大応援団の期待に応えられる試合にしていきたい。

本日は、大変多くのご声援、ありがとうございました。

明日もよろしくお願ひします。

32	中屋 夏澄 ()	荒木 絵里香 ()	第1セット	金田 修佳 (渡邊 真恵)	宮下 遥 (宇賀神 みずき)	30
	小田 桃香 ()	村永 奈央 (竹田 沙希)	第1セット	川島 亜依美 ()	大楠 鼓雪 ()	
	杉 郁香 ()	比金 桃子 ()	第1セット	西村 弥菜美 ()	佐々木 萌 ()	

リベロ：榊原 美沙都 佐藤 滯 リベロ： 榊崎 慈恵 森田 夕貴

26	杉 郁香 ()	小田 桃香 ()	第2セット	大楠 鼓雪 ()	金田 修佳 ()	24
	比金 桃子 ()	中屋 夏澄 ()	第2セット	西村 弥菜美 ()	宮下 遥 ()	
	村永 奈央 ()	荒木 絵里香 ()	第2セット	佐々木 萌 (吉岡 美晴)	川島 亜依美 (居村 杏奈)	

リベロ：榊原 美沙都 佐藤 滯 リベロ： 榊崎 慈恵 森田 夕貴

15	中屋 夏澄 (金本 望)	荒木 絵里香 ()	第3セット	佐々木 萌 (吉田 みなみ)	宮下 遥 (磯部 光里)	25
	小田 桃香 (藪田 美穂子)	村永 奈央 ()	第3セット	居村 杏奈 ()	大楠 鼓雪 ()	
	杉 郁香 ()	比金 桃子 ()	第3セット	吉岡 美晴 (宇賀神 みずき)	西村 弥菜美 ()	

リベロ：榊原 美沙都 佐藤 滯 リベロ： 榊崎 慈恵

26	杉 郁香 (平松 美有紀)	小田 桃香 (竹田 沙希)	第4セット	大楠 鼓雪 ()	佐々木 萌 ()	28
	比金 桃子 ()	中屋 夏澄 ()	第4セット	吉岡 美晴 (宇賀神 みずき)	宮下 遥 (磯部 光里)	
	村永 奈央 ()	荒木 絵里香 ()	第4セット	西村 弥菜美 (金田 修佳)	居村 杏奈 ()	

リベロ：榊原 美沙都 リベロ： 榊崎 慈恵

13	竹田 沙希 ()	中屋 夏澄 ()	第5セット	大楠 鼓雪 ()	佐々木 萌 ()	15
	杉 郁香 (平松 美有紀)	荒木 絵里香 ()	第5セット	吉岡 美晴 ()	宮下 遥 ()	
	比金 桃子 ()	村永 奈央 ()	第5セット	西村 弥菜美 (金田 修佳)	居村 杏奈 ()	

リベロ：榊原 美沙都 リベロ： 榊崎 慈恵

<要約レポート>

第1セット、岡山シーガルズは佐々木、金田の攻撃で得点を重ね、中盤まで主導権を握りリードするが、トヨタ車体クインシーズは比金のサービスエースで勢いに乗り、荒木、中屋が要所でスパイクを決めこのセットの競り合いを制した。

第2セット、岡山はセットを奪回すべく、大楠、金田のスパイクで得点するが、終盤、トヨタ車体は、セッター比金の絶妙なトスワークでブロッカーを翻弄し、荒木、小田のスパイクが要所で決まりセットを連取した。

第3セット、後の無くなった岡山は、リベロ榊崎が体を張ったナイスレシーブを連発すると、チームも勢いに乗り、全員バレーでトヨタ車体を寄せつけず、セットを取った。

第4セット、トヨタ車体は比金が、岡山は宮下が、意地とプライドを掛けお互いの攻撃陣を操り、シーソーゲームを展開するが、コート狭しとボールを追いかけ、繋ぎ、ボールを落とさなかった岡山が競り勝ち、振り出しに戻した。

最終セット、お互い一歩も譲らない試合展開に両チームの応援にも力が入り、白熱した試合は盛り上がりを見せる。トヨタ車体は荒木のサービスエースやスパイクで得点を重ねるが、全員で拾い繋ぐ岡山は、途中出場の吉岡、居村へボールを繋ぎ得点を重ね、最後は西村がスパイクを決め、準決勝へ駒を進めた。

作成者： 作田 和美

